

アタマジラミ及びノロウイルス等の感染症について

1. アタマジラミについて

一年をとおして、アタマジラミは、いつでも発生します。アタマジラミは、頭や体を寄せ合って遊ぶ間に、直接接触という形で感染することが多く、また一生に約300個の卵を産むといわれていますので、感染したらあっという間に広がります。

保育園では、子ども同士の接触による感染の可能性も高くなりますが、家庭内感染もよくあります。同室や同じベッドで寝る子どもの間では、感染は容易に起こるといわれていますので、ご家庭でも定期的にお子さんの頭髪をよく調べ注意されるようお願いいたします。

Q. 予防するには

- ・家庭内で、時々子どもの頭髪を調べ、シラミや卵がついていないことを確かめて下さい。
- ・頭は、いつも短く整え、清潔に保ってください。
- ・大人が子どもの髪を時々洗ってあげてください。

Q. 頭髪にシラミの卵がついていたら

- ・家族内の他の人にもいないか調べてみてください。
- ・薬局が病院で相談し、スミスリンシャンプーで駆除してください。
- ・薬をつけても卵は消えないので、卵のついた毛は、1本1本、ハサミで切り取って、目の細かいクシで髪をよくすくってください。
- ・タオル・くし・帽子など直接頭に触れるものを共用しないでください。シラミのいる人の枕カバー、シーツ、タオルは毎日取り替え、洗たくしてください。
- ・駆除している間は、毎日子ども達の頭髪を検査し、卵が全くなくなるまで、根気強くおこなってください。

Q. 駆除方法

- ・アタマジラミの一番手っ取り早い根絶方法は、髪を短く切ることです。
- ・スミスリンシャンプーで洗い、クシで髪をすきます。

Q. アタマジラミの吸血部位と症状

- ・後頭部、側頭部に多く非常にかゆみがあるのが特徴であり、子どもがやたらに頭をかゆがり、かき始めたら要注意です。激しいかゆみのため、そこから細菌の二次感染が起こり、ひどいときには、リンパ節の膨張をきたすこともあります。

2. ノロウイルスについて

冬季を中心に、ノロウイルスを原因とする嘔吐、下痢などの健康被害を多発しています。

- ・感染予防の基本は、「手洗い」です。ノロウイルスの感染経路ほとんどの場合、経口（口から体内に入ること）感染です。

日ごろから、食事前やトイレの後などにおいて、石鹸でしっかり手を洗い予防しましょう。二次感染を予防するため、ふん便や嘔吐物などに直接触れないよう手袋を着用するなど、処理には、十分注意してください。処理した後は、石鹸で腕から指先まで30秒以上しっかり洗い、うがいをしましょう。

- ・感染すると

潜伏期間は、24～48時間で、主な症状は、吐き気、嘔吐、下痢・腹痛で、発熱は、軽度です。通常、これらの症状が1～2日続いた後、治ります。後遺症ありません。また、感染しても発症しない場合や軽い風邪のような症状の場合もあります。

ただし、幼児や高齢者など体の抵抗力が弱い人が感染すると脱水症状を起こすなど重症になることがありますので注意が必要です。

感染するとふん便や嘔吐物には大量のウイルスが含まれています。下痢等の症状がなくなっても通常では1週間程度長いときには1ヶ月程度ウイルスの排泄が続くことがありますので、食品を取り扱う場合などには注意が必要です。